

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）



2025年10月31日

上場会社名 株式会社牧野フライス製作所 上場取引所 東
コード番号 6135 URL <https://www.makino.co.jp/>
代表者（役職名）取締役社長（氏名）宮崎 正太郎
問合せ先責任者（役職名）専務取締役管理本部長（氏名）永野 敏之（TEL）046-284-1439
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	119,421	10.3	9,500	25.4	10,530	38.9	6,762	16.9
2025年3月期中間期	108,237	△0.3	7,576	△2.6	7,583	△22.1	5,782	△24.7

（注）包括利益 2026年3月期中間期 9,326百万円（—％） 2025年3月期中間期 △308百万円（—％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	289.13	—
2025年3月期中間期	244.87	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	381,823	233,670	61.1
2025年3月期	367,037	226,650	61.7

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 233,308百万円 2025年3月期 226,285百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	80.00	—	100.00	180.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	240,000	2.5	21,500	16.1	22,000	9.5	18,000	24.9
								769.61

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社（社名）— 、除外 —社（社名）—
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	24,893,841株	2025年3月期	24,893,841株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	1,502,000株	2025年3月期	1,505,407株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	23,388,819株	2025年3月期中間期	23,613,883株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	11
受注及び販売の状況	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における業績は、売上高1,194億21百万円(前年同期比10.3%増)、営業利益95億円(前年同期比25.4%増)、経常利益105億30百万円(前年同期比38.9%増)、純利益67億62百万円(前年同期比16.9%増)となりました。

上期の連結受注は1,250億95百万円(前年同期比15.1%増)となりました。日本国内では部品加工向けを中心に前年同期比で受注が減少しましたが、米国の関税政策による世界経済の先行き不透明感があるなかでも、中国の新エネルギー車関連、北米の航空宇宙関連が前年同期比で増加しました。第3四半期以降も受注は底堅く推移し、下期の連結受注は上期を上回る計画です。

第2四半期(2025年7月～9月)における報告セグメント別の受注状況(現地通貨ベース)は以下のとおりです。

(当社報告セグメントはグループの販売体制をもとに構成しています。詳細については9ページを参照ください)

セグメントⅠ（「個別」および国内連結子会社）

牧野フライス製作所の国内受注は、前年同期を下回りました。

前年同期に好調だった自動車関連を中心とした部品加工向けが減少となりましたが、航空宇宙関連は増加となりました。

セグメントⅡ（MAKINO ASIA PTE LTD）

アジアの受注は前年同期を上回りました。

中国は新エネルギー車関連、電子部品関連の金型向けが堅調に推移し、前年同期を上回りました。

インドは自動車関連などの部品加工を中心にエンジニアリングを含め底堅く推移し、前年同期並みとなりました。

アセアンは半導体製造装置関連を中心とした部品加工向けが減少し、前年同期を下回りました。

セグメントⅢ（MAKINO INC.）

アメリカの受注は前年同期を上回りました。

航空宇宙関連で機体構造部品からエンジン部品まで幅広く具体的な商談が増加し、受注につながりました。低迷していた自動車関連の商談が動き出しており、下期以降の受注獲得に向け尽力します。

セグメントⅣ（MAKINO Europe GmbH）

ヨーロッパの受注は、前年同期を上回りました。

医療機器関連、産業機器関連などで部品加工向けが増加したほか、航空宇宙関連の受注が堅調に推移しました。

2025年9月に立形マシニングセンタ「V800」を発売しました。本製品は、当社のロングセラー機V33iに代表されるVシリーズの次世代機のひとつです。更なる高速・高精度・高面品位の加工を可能とするとともに、従来機と同等の設置面積を維持しつつ対応可能な加工対象物のサイズを従来比1.8倍に拡張しており、大型化が進む自動車部品向けの金型をはじめとした中・大物の金型加工の生産性向上に寄与します。

2025年9月にドイツで開催された欧州国際工作機械見本市EMOに出展しました。当社は「Precision is our nature」をテーマに、最大重量1トンの加工対象物を高精度で加工できる最新の5軸制御横形マシニングセンタa630iTを欧州で初出展したほか、自働化の導入パッケージを提案しました。多くの製造現場で発生している人員不足への対応策として、今後も効率化、省人化に向けたさまざまな提案を行い、お客様の課題解決のサポートに努めていきます。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、棚卸資産77億19百万円の増加、現金及び預金75億59百万円の増加、建設仮勘定71億62百万円の増加、売上債権63億18百万円の減少並びに投資有価証券16億49百万円の増加などにより、前連結会計年度末に比べ147億85百万円増加し、3,818億23百万円となりました。

負債につきましては、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金85億円の減少、短期借入金71億34百万円の増加、1年内償還予定の社債を含む社債50億円の減少、仕入債務30億67百万円の増加、未払法人税等11億2百万円の減少並びに前受金等のその他流動負債117億91百万円の増加などにより、前連結会計年度末に比べ77億64百万円増加し、1,481億52百万円となりました。

また、純資産につきましては、利益剰余金44億23百万円の増加、為替換算調整勘定16億5百万円の増加並びにその他有価証券評価差額金11億45百万円の増加などにより、前連結会計年度末に比べ70億20百万円増加し、2,336億70百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、前回公表値(2025年4月30日公表)を修正しておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	64,055	71,614
受取手形、売掛金及び契約資産	55,989	49,671
有価証券	135	139
商品及び製品	33,476	35,681
仕掛品	19,263	20,608
原材料及び貯蔵品	45,479	49,647
その他	12,055	10,714
貸倒引当金	△1,849	△1,595
流動資産合計	228,604	236,482
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	39,192	39,049
機械装置及び運搬具(純額)	11,119	10,947
工具、器具及び備品(純額)	5,185	4,409
土地	20,022	20,133
リース資産(純額)	7,385	7,358
建設仮勘定	11,315	18,478
有形固定資産合計	94,221	100,376
無形固定資産		
その他	3,539	3,570
無形固定資産合計	3,539	3,570
投資その他の資産		
投資有価証券	25,226	26,876
長期貸付金	496	461
繰延税金資産	6,607	6,088
退職給付に係る資産	4,687	4,473
その他	3,739	3,560
貸倒引当金	△85	△65
投資その他の資産合計	40,672	41,394
固定資産合計	138,433	145,340
資産合計	367,037	381,823

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,125	19,984
電子記録債務	12,429	14,637
短期借入金	8,143	15,278
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	11,500	-
リース債務	1,132	1,156
未払法人税等	3,346	2,243
その他	36,934	48,725
流動負債合計	97,610	107,025
固定負債		
社債	15,000	10,000
長期借入金	13,000	16,000
リース債務	3,425	3,408
繰延税金負債	8,258	9,188
役員退職慰労引当金	161	167
退職給付に係る負債	715	439
その他	2,216	1,922
固定負債合計	42,776	41,126
負債合計	140,387	148,152
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,142	21,142
資本剰余金	37,116	37,140
利益剰余金	137,760	142,184
自己株式	△7,175	△7,161
株主資本合計	188,843	193,306
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,997	15,143
為替換算調整勘定	20,626	22,231
退職給付に係る調整累計額	2,817	2,627
その他の包括利益累計額合計	37,441	40,001
非支配株主持分	364	362
純資産合計	226,650	233,670
負債純資産合計	367,037	381,823

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	108,237	119,421
売上原価	73,903	83,129
売上総利益	34,334	36,291
販売費及び一般管理費	26,758	26,791
営業利益	7,576	9,500
営業外収益		
受取利息及び配当金	499	590
助成金収入	74	410
その他	516	597
営業外収益合計	1,090	1,598
営業外費用		
支払利息	236	307
為替差損	822	224
その他	23	36
営業外費用合計	1,082	568
経常利益	7,583	10,530
特別利益		
固定資産売却益	217	114
投資有価証券売却益	327	73
特別利益合計	545	187
特別損失		
固定資産除却損	33	16
公開買付関連費用	-	1,104
特別損失合計	33	1,121
税金等調整前中間純利益	8,094	9,596
法人税等	2,306	2,830
中間純利益	5,788	6,765
非支配株主に帰属する中間純利益	5	3
親会社株主に帰属する中間純利益	5,782	6,762

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	5,788	6,765
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,812	1,146
為替換算調整勘定	△4,250	1,605
退職給付に係る調整額	△34	△190
その他の包括利益合計	△6,097	2,561
中間包括利益	△308	9,326
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△313	9,323
非支配株主に係る中間包括利益	4	3

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	8,094	9,596
減価償却費	4,082	3,964
貸倒引当金の増減額(△は減少)	56	△299
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6	6
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△110	△342
受取利息及び受取配当金	△499	△590
支払利息	236	307
為替差損益(△は益)	18	△5
投資有価証券売却損益(△は益)	△327	△73
固定資産売却損益(△は益)	△217	△114
固定資産除却損	33	16
公開買付関連費用	-	1,104
売上債権の増減額(△は増加)	1,276	7,355
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,039	△6,120
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,972	2,175
その他	4,594	8,920
小計	14,233	25,900
利息及び配当金の受取額	493	585
利息の支払額	△238	△291
法人税等の支払額	△2,598	△3,069
公開買付関連費用の支払額	-	△1,646
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,889	21,478
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△400	-
有形固定資産の取得による支出	△6,518	△4,242
有形固定資産の売却による収入	589	433
投資有価証券の取得による支出	△2,001	△2
投資有価証券の売却による収入	370	85
その他	367	△494
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,592	△4,220
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	6,643	6,797
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△638	△589
長期借入れによる収入	-	3,000
長期借入金の返済による支出	-	△11,500
社債の償還による支出	-	△5,000
自己株式の取得による支出	△2,003	△3
子会社の自己株式の取得による支出	△25	-
配当金の支払額	△1,896	△2,336
非支配株主への配当金の支払額	△4	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,074	△9,638
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,279	△58
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,092	7,561
現金及び現金同等物の期首残高	72,578	64,067
現金及び現金同等物の中間期末残高	76,670	71,628

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの主な事業は工作機械の製造販売であります。製造は日本、アジアで行っており、販売は海外の重要拠点に子会社を展開して、グローバルな販売活動を行っております。従いまして、当社グループは下記Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの販売体制を基礎とした各社の所在地別のセグメントから構成されております。

報告セグメントⅠ. は牧野フライス製作所が担当するセグメントであり、主たる地域は日本、韓国、中国、大洋州、ノルウェー、イギリス及びセグメントⅡ、Ⅲ、Ⅳに含まれないすべての地域です。さらに、国内関係子会社を含んでおります。

報告セグメントⅡ. はMAKINO ASIA PTE LTD(シンガポール)が担当するセグメントであり、主たる地域は中国、ASEAN諸国、インドです。

報告セグメントⅢ. は、MAKINO INC. (アメリカ)が担当しているセグメントで、南北アメリカのすべての国です。

報告セグメントⅣ. は、MAKINO Europe GmbH(ドイツ)が担当するセグメントであり、ヨーロッパ大陸(ノルウェーを除く)のすべての国です。

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	I (百万円)	II (百万円)	III (百万円)	IV (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	19,850	43,769	35,750	8,867	108,237
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	38,217	4,319	312	2	42,851
計	58,067	48,088	36,063	8,870	151,089
セグメント利益 又は損失(△)	5,380	1,689	1,487	△363	8,192

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	8,192
未実現利益の消去他	△616
中間連結損益計算書の営業利益	7,576

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	I (百万円)	II (百万円)	III (百万円)	IV (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	18,389	61,589	33,273	6,169	119,421
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	40,514	5,206	171	18	45,910
計	58,903	66,795	33,445	6,187	165,332
セグメント利益 又は損失(△)	3,442	4,181	1,388	△1,038	7,974

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	7,974
未実現利益の消去他	1,525
中間連結損益計算書の営業利益	9,500

3. その他

受注及び販売の状況

1. 受注の状況

受注高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当中間連結会計期間 自 2025年4月1日 至 2025年9月30日		前年同期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	23,264	18.6	+0.9
II	62,079	49.6	+35.1
III	31,199	25.0	△0.1
IV	8,551	6.8	+1.6
合計	125,095	100.0	+15.1

受注残高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当中間連結会計期間末 2025年9月30日		前年同期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	23,826	22.2	△7.8
II	33,789	31.6	+6.2
III	38,920	36.3	+20.8
IV	10,578	9.9	+28.1
合計	107,114	100.0	+9.2

2. 販売の状況

販売実績

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当中間連結会計期間 自 2025年4月1日 至 2025年9月30日		前年同期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	18,389	15.4	△7.4
II	61,589	51.6	+40.7
III	33,273	27.8	△6.9
IV	6,169	5.2	△30.4
合計	119,421	100.0	+10.3